

令和8年度 文京区立窪町小学校 授業改善推進プラン 第3学年

	授業における課題 (児童の実態・教師の指導上の課題)	具体的な授業改善策
国語科	○物語や説明文を読んで、叙述を基に文章の構成や登場人物の気持ち考えること。 ○新出漢字の学習の際に、習得していこうとする姿が見られるが、丁寧に識字をしたり、文を書くときに活用したりすること。	○めあてを明確にすることや、着目するポイントを知らせることで、児童が考えながら音読し、読み取ることができるよう指導していく。 ○どの教科においても、既習の漢字を使って書くことを指導していく。漢字練習ノートを活用し、書き順や文字の形を丁寧に指導していく。
社会科	○八方位や地図記号についての知識は習得しているものの、実際の方角や記号を地図上で読み取ったり、白地図に書き入れたりして活用すること。 ○グラフや地図を読み取り、時間的、空間的な視点に立って情報を整理する力を養うこと。 ○学習したことから、身近な社会とどのように関わっていけばよいかを考え、実践しようとする事。	○地図アプリや町探検を通して、実際の町と地図上の記号を関連付ける活動を取り入れることで、知識と実生活を結び付けるようにする。 ○学習単元に合わせたグラフや地図などの資料を用意し、読み取る活動を意図的に設定することで、資料を読み取る技能を高めるようにする。 ○学習のまとめにおいて、学んだことをどう生かしたいか、お世話になっている人とどう関わりたいかなど、具体的な視点をもたせる。
算数科	○九九の定着が不十分だったり、繰り上がり繰り下がりの計算で指を使ったりと、既習の技能が身に付いていない児童がいること。 ○文章問題に慣れていないため、問題の意味を考えて立式できなかったり、答え方(主に単位)が適切でなかったりすること。	○繰り返し計算練習をする機会を設ける。学校だけでなく家庭学習でも取り組ませる。 ○問題文にアンダーラインを引かせ、何が分かっている何を問われているのかを共有する。また習熟や発展で扱う問題を増やす。
理科	○植物の観察をする際、色、大きさ、変化など視点を確認し文章でまとめる活動を定着させること。 ○実験を行う際、実験の方法を理解しておらず、予想を立てずに実施してしまうこと。 ○安全についての意識を高めること。	○観察のポイントについて、ワークシートなどを使って明確にし、分かりやすい観察カードを作れるよう指導していく。 ○課題・実験・道具・手順・予想・結果・考察といった手順を明確にし、この順序で学習をしていくということを年間を通して学ばせる。 ○理科の学習では危険があることを理解させ、安全に行うための正しい知識を身に付ける。
音楽科	○音楽の知識や技術が豊富な児童が積極的に発言して授業を進めていく傾向があるので、皆でじっくりと考え、全員が発言する機会が少ないこと。 ○一つの曲に含まれる様々な要素にバランスよく触れて授業を行ってきたが、本時に何を身に付けたのかを振り返る際、論点が絞れず散漫になってしまったこと。	○新しい単元の導入では、既習事項や日常生活と絡めた発問を順番に指名していき、皆が発言することで、活動への意欲を高めるようにする。 ○曲の中に含まれるたくさんの音楽を特徴付けている要素から、本時に身に付けさせることを厳選して学習計画を立てる。
図画工作科	○創作意欲が高く、熱心に取り組む児童が多いが、沢山出て来たアイデアをどのように表現したらよいか考えがまとまらず、混乱してしまうことがあること。 ○創作意欲が途中で途切れてしまうことがあること。 ○制作速度の個人差が大きく、活動の進度にばらつきが生じている。	○一つのテーマを提示し、児童の言葉を拾いながら、発想を膨らませる導入を工夫する。また、制作途中に発想豊かに描き進めている児童の作品を紹介する場面を設ける。 ○作品制作の途中に鑑賞の時間を取り入れたり、参考作品を見せたりして、意欲の持続を図る。また、互いの作品を認め合ったり、教員から声掛けをしたりすることで、児童の創作意欲が持続できるようにする。 ○制作過程を見える化し、児童が、自分がどこまで進んでいるか確認する。

体育科	○運動の技能ポイントを精選し、児童がスモールステップで身に付けられるような学習過程を検討する必要があること。 ○友達同士の認め合いや、自己の課題を見付け、次回の運動につながるような振り返りができるようにすること。	○教員の実技研修を通して、技能ポイントを洗い出し、運動に対する理解を高めてから授業に臨む。 ○授業ごとに振り返りで書く視点を指導し、見付けた良さなどについてもできるだけ具体的に書くよう指導する。
外国語活動	○英語の発音に馴染みがなくても、聞き取ったり、大きな声で繰り返したりすることを全員で楽しめるようにすること。 ○絵や写真、話し手の表情やジェスチャーなどから何となくの意味を推測すること。	○ALTとの学習の中で、歌やチャンツをたくさん取り入れ楽しく繰り返し英語を口にさせ、英語の音に慣れ親しませるのと同時に、恥ずかしいという思いを克服させる。 ○写真や絵を見せたり、表情やジェスチャーを意識したデモンストレーションを見せたりすることで、児童にはおおよその意味を推測させやすくする。
道徳	○教師が価値に迫れる発問を吟味し、授業を構成していくこと。 ○児童が、価値を一般化して日常生活にしっかり生かせるようにしていくこと。	○教師が資料分析を十分行った上で、児童の実態を踏まえてねらいを設定する。考えさせたい道徳的価値に迫る発問を決めていく。 ○自分の生活について振り返り、ペアやグループなどでの話し合いを有効に活用する。
総合的な学習	○目的意識をもって調べ学習に取り組むことや、必要な情報を選択して整理し、まとめること。	○調べたことから必要な情報を整理することの重要性を示す。情報の吟味の仕方や整理する方法を伝えていく。また、グラフの活用や発表資料のまとめ方など、他教科で学習した内容を生かせるようにする。